

「住み慣れた地域でともに支えあい、最期まで安心して暮らせるまちづくり」をめざした体制の構築

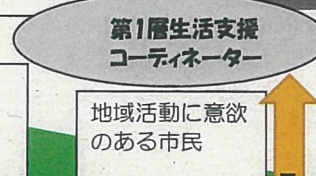
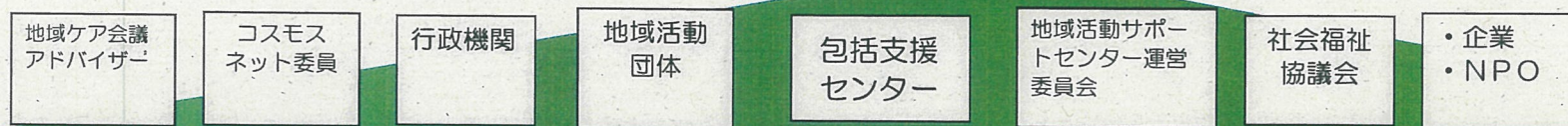
介護予防・生活支援・医療・介護 地域支えあいネットワーク体制

第1層 地域支えあいネットワーク全体会議（協議体）

【内容】関係機関の代表者が集まり古賀市の高齢者を取りまく現状把握や体制整備の学習を行う。（年間1回程度 ①学習会 ②年間報告会 等）

第1層 地域支えあいネットワーク課題別会議（協議体専門委員会）

【内容】古賀市の課題として協議が必要な場合には、関係団体を生活支援コーディネーターが選出し、課題別会議を開催することで、課題解決をめざす。



事例から見えてきた地域課題の明確化

各小学校区の介護予防・生活支援の現状と成果課題の明確化

3

地域ケア推進会議（市主催）

【内容】住み慣れた地域で安心して暮らし続けることを支援するために、社会資源を活用しながら地域力を高め、地域課題について情報交換を行い問題解決に向けた取組を推進する。

コスモスネット委員(医療介護専門職代表)

地域課題の把握・地域づくり資源開発・施策形成の提言

地域ケア個別会議（包括支援センター主催）

【内容】ケースを検討することにより、①地域支援ネットワークの構築 ②ケアマネジメント支援③地域課題の把握を行う

地域ケア会議アドバイザー：看護師・リハ職・管理栄養士・歯科衛生士 薬剤師・生活支援コーディネーター等

事業対象者・要支援認定者の個別事例

2

第2層 地域支えあいネットワーク全体会議（各小学校区協議体）

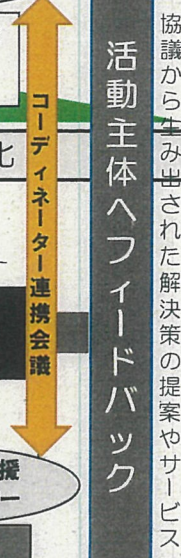
小野・青柳・古賀東・古賀西・花鶴・千鳥・花見・舞の里（8小学校区）

【内容】各小学校区にて、関係機関が集まり地域の高齢者を取りまく現状状況把握や体制整備の学習を行う。（年間2回程度 ①学習会 ②年間報告会）

第2層 地域支えあいネットワーク課題別会議（協議体専門委員会）

【内容】各小学校区の課題に対して協議が必要な場合には、関係団体を2層生活支援コーディネーターが選出し、課題別会議を開催することで、課題解決をめざす。

各地域の高齢者の介護予防・生活支援における地域状況



第3層 各自治会活動・地域の団体活動・市民の活動（困った時はお互いさまたよりあえる、仲間作り、意識作り）

行政・地域包括支援センター（3職種）

役割：会のコーディネート機能・基盤整備
目的：地域課題の抽出。地域情報の共有・フィードバック

生活支援コーディネーターの業務

目的：「高齢者の介護予防・生活支援等のサービスの体制整備を推進していく。」
役割：①生活支援の担い手の育成（第1層・第2層）②介護予防・生活支援サービスの開発（第1層・第2層）③関係者のネットワーク化（第1層・第2層）④ニーズとサービスのマッチング（第2層）